

## 豊洲市場視察・調査<第三回> 平成28年9月23日(金)

### 『新たに1棟で水たまり発覚』都議会公明の再調査で判明！

東京都議会公明党「豊洲市場整備問題対策プロジェクトチーム（PT）」の上野和彦座長らは23日、豊洲市場（都内江東区）を訪れ、生鮮食品などを扱う加工パッケージ棟と管理施設棟の地下空間を調査したほか、両施設の地下に重機などを入れるための搬入口なども視察した。

同PTの緊急調査は今回で3回目。都は土壌汚染対策として盛り土を行うと説明しながら、実際には行っていなかった主要建物のうち、加工パッケージ棟と管理施設棟の地下空間を初めて公開した。

加工パッケージ棟地下の床は、厚さ10～20センチのコンクリートが敷設されている。一行は、広範囲に水がたまり、深いところで最大23センチほどの水位になっていることを確認し、その水を採取した。

管理施設棟の地下は、水のとまりがなく照明も完備されていた。

調査を終えた同PTは都議会内で記者会見を行い、上野座長は、加工パッケージ棟地下のたまった水について、「降雨で地下水が上昇してきたもの」と指摘。その上で「採取した水は成分の分析を専門機関に依頼した」と述べた。



6街区（加工パッケージ棟）で水たまりの奥へ進む